

# サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 へて

提出日:令和 4 年 3 月 13 日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			
	○	小規模多機能型居宅介護	○	介護予防小規模多機能型居宅介護
	看護小規模多機能型居宅介護			
事業所番号	4490300102			
事業所名	小規模多機能の家 水車			
法人名	NPO法人 福祉の里なかつ応援隊			
代表者名	武下 英二			
事業所所在地	(〒879-0111) 中津市大字伊藤田 1064 番地 1			
担当者名	井上喜久子			
連絡先	電話	0979-32-0337	FAX	0979-32-0337
	mail	qqkk6bk9k@angel.ocn.ne.jp		



以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	令和 6 年 2 月 16 日
-----------------	-----------------

「**※要提出**」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
<input type="checkbox"/> <b>※要提出</b>	・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表…………… 公表
小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)	
	・(別紙2-1) スタッフ個別評価…………… 事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> <b>※要提出</b>	・(別紙2-2) 事業所自己評価…………… 公表
	・(別紙2-3) 地域からの評価…………… 事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> <b>※要提出</b>	・(別紙2-4) サービス評価総括表…………… 公表
看護小規模多機能型居宅介護	
	・(別紙3-1) 従業者等自己評価…………… 事業所にて保管
	・(別紙3-2) 事業所自己評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> <b>※要提出</b>	・(別紙3-3) 運営推進会議における評価…………… 公表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月16日( 18:30 ~ 20:00

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 永光、近藤、、藤川、山崎、山崎悦子、天神、池口、松村、河底

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	3人	0人	13人

## 前回の改善計画

家族や本人に対して不安やニーズを聞き取り、早期に信頼関係を構築する。本人が何ができて、どこを手助けして欲しいか見極める。フェースシートやケアプランを詳細に読み、職員間でも細目に情報交換を行っていく。職員一人ひとりの支援方法の見直しやコミュニケーション能力向上に努める。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

ケアプランとは別に個別プランを作成して、サービス開始前から職員間で情報共有を図った。事前の打ち合わせや確認を何度か行い一つのシートにして全員へ申し送り情報の共有を図った。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	3		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	3		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	6	2		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	6	3		13

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人の情報やニーズについては、フェースシート等で書面で共有できている。利用者が慣れていない時期の声かけ、気遣いは出来ている。

## できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

情報がシートでの閲覧方式であり情報の伝達に職員間で個人差が出てくる。初回利用の際、送迎や電話以外での家族とのやり取りが少ない為、関係作りがなかなか出来ない。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

利用者の聞き取りの情報やその都度、得られた情報は確実に閲覧、情報を共有して閲覧印を押す。疑問や質問があればリーダーや管理者に確認する。家族からの情報は確実にノートやミーティングで申し送る。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月16日( 18:30 ~ 20:00

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 永光、近藤、、藤川、山崎、山崎悦子、大神、池口、松村、河底

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5人	3人	5人	人	13人

前回の改善計画

当面の目標を実現しながら本人の本音を聞き出す。今までできていいる事に注目して継続できるように声かけや手助けをする。

前回の改善計画に対する取組み結果

モニタリング、サービス担当者会議を利用して本人の目標を理解するように努めたが、自分の意思を表現できる方、出来ない方がおり充分に思いをくみ取る事ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	4	5	4		13
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	7	5	1		13
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	5	4	4		13
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	5	4		13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

毎月のモニタリングを実施して、担当者が定期的に見直しを行い支援方法を検討した。結果をシートに残し共有した。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

本人の訴えが強い人への対応が中心となり職員の思い出対応している所があった。個別ケアプラン等をいつでも見れるように、リーダーの席にいたが日々の業務に追われてケアプラン等を見ていなかった職員が見受けられた。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

担当職員がケアプランと個別計画書の連動性を自分で確認して毎月のモニタリングを実施、結果をシートに残す。担当者会議には担当の職員がなるべく出席し、本人との信頼関係を築いていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月16日( 18:30 ~ 20:00

3. 日常生活の支援

メンバー 永光、近藤、藤川、山崎、山崎悦子、天神、池口、松村、河底

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	5人	1人	人	13人

前回の改善計画

本人や家族への聞き取りの工夫をしながら支援する。本人とのコミュニケーションや送迎、面会時に家族と会った際に話しの中で以前の暮らしなど聞き取るように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

電話や連絡ノートの活用で、家族との連携が図れた感じがします。医療ニーズの高い利用者には、職員間で共有し医療機関へつなげた例もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3	7	3		13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	4	13		13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	6	2		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	5	2		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	4	5		13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

体調や気持ちの変化に気づいたら看護師や管理者へ報告し情報共有している。常日頃から表情や行動に気をつけ見守りを行った。家族との連絡ノートを活用して体調の変化の把握に努めた。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

日々の業務に追われて利用者との関わりが少なくなっている面があり気持ちの変化に気づかないでそのままになっていた事があった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

本人との日々の関わりや家族との交流で、自宅での暮らし方を情報収集して、把握していく。又利用者の入浴支援時や個別対応時の会話の中でも本人の思いをくみ取り他職員へ情報提供する。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月16日( 18:30 ~ 20:00

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 永光、近藤、、藤川、山崎、山崎悦子、天神、池口、松村、河底

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7月人	1人	人	13人

前回の改善計画

今後も地域参加ができるように、地域行事への参加支援を行います。

前回の改善計画に対する取組み結果

地元小学校との交流や地元の催し物(文化祭、コスモス見学、菊花展)等に参加して社会資源を活用して利用者に喜ばれました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	8	4	1		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	6	6	1		13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	5	6	2		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	4	6	3		13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

送迎時や面会、連絡ノート等で家族とのコミュニケーションを図り情報交換を行い、信頼関係に努めた。各職員が担当を持ち本人の現在の状況や環境の把握に努めて、本人がどのように日常生活を過ごしているのか把握した。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

地域資源を利用している利用者が数名いるが確認、把握していない職員がいる。家族が遠方であったり、家族との交流や連携が図れていない為、本人の生活状況が把握しきれない所がある。帰宅後や利用日でない自宅での生活リズムや家族との関係性が分からない所がある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

スタッフ会議の中で勉強会をしていく。又担当している利用者が利用している社会資源がどのような物が確認

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月16日( 18:30 ~ 20:00

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 永光、近藤、、藤川、山崎、山崎悦子、大神、池口、松村、河底

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	5人	0人	人	13人

**前回の改善計画**

確認した情報は職員に伝え申し送りノートに記入して情報共有をする。職員一人ひとりの利用者へ対する対応の仕方などで、本人の気持ちも変化することに気づき、その変化を職員間で共有していく必要がある。

**前回の改善計画に対する取組み結果**

多機能の特性については、契約時や必要時に本人や家族へ説明して理解してもらえるように対応した。必要であれば家族に変更依頼して協力してもらった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6	4	3		13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	6	0		13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	5	2		13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	5	3		13

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人の希望や状態変化、家族の意向等で相談があれば利用日の変更や追加利用、急な泊りや訪問、食事内容、送迎時間の変更等柔軟に対応した。

**できていない点** 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

定められた定員の都合や利用変更、送迎時間の変更、送迎場所の指定等、職員のミスで伝わらなかつたり報告がなかった為、柔軟な対応が一部できなかった。宿泊や通い希望は本人の意向やニーズより家族の意向が優先されているケースがあった。新しいケアの変更、サービスの追加等頻繁に行われ上手に共有や情報の伝達ができない時があった。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)

運営推進会議や連絡会を通じて社会資源の情報を収集し各職員へ情報提供を行う。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月16日( 18:30 ~ 20:00

6. 連携・協働

メンバー 永光、近藤、、藤川、山崎、山崎悦子、大神、池口、松村、河底

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人	2人	人	13人

前回の改善計画

介護職が参加できる会議があれば参加する。その他のサービス機関や地域の働きを知り、どの様な繋がりがあり本人にどの様に支援されているか理解する。

前回の改善計画に対する取組み結果

担当者会議に多職種協働で参加できるよう調整したが、勤務体制や時間の都合で全員が参加するまでにはいかなかった。施設の避難訓練に地域の方々に初めて参加してもらった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	5	5	3		13
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	5	4		13
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	4	4	5		13
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	8	4	1		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
ボランティア活動や施設の秋祭り、避難訓練等に地域の方々に、参加してもらい地域との交流を図った。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること  
施設行事等へ地域の方や外部から参加してもらう事はあっても施設側より包括や地域の各種機関の活動やイベントへの参加は殆どできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

中津市内の小規模多機能連絡会の交流を図る。他施設の運営推進会議開催時に、職員を1名参加させる。地域の団体の活動やイベントについて把握し内容を確認する。担当職員が担当者会議に出席できるように今後も調整していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月16日( 18:30 ~ 20:00

7. 運営

メンバー 永光、近藤、、藤川、山崎、山崎悦子、天神、池口、松村、河底

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	4人	3人	人	13人

前回の改善計画	職員関係を良好にして、より良い環境を築きあげ事業所の質の向上へつなげる。職員一人ひとり責任をもった行動をとる。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者や家族からの意見、苦情があれば真摯に受け止め、職員同士情報を共有し今後の対策をしっかりと考えるように取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	7	4	2		13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	4	1		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	4	5		13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	7	3	3		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
定期的に職員との面談を行い、気軽に相談や意見が出せるような機会や話しが出来るような雰囲気作りをした。運営推進会議を通じて地域の方々との意見交換や情報を職員間で共有した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の方が事業所に来設する機会が少ない。運営推進会議について、その目的等基本的な情報をもっていない職員がいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
スタッフ会議やミーティング等で運営推進会議の基本的な知識を勉強、会議の伝達や地域からの意見を随時報告し、運営推進会議では、施設内での取り組みを報告していく	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月16日( 18:30 ~ 20:00

8. 質を向上するための取組み

メンバー 永光、近藤、、藤川、山崎、山崎悦子、大神、池口、松村、河底

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	4人	3人	人	13人

前回の改善計画

勉強会や各研修会にできる限り参加して目標をもって業務にあたる。研修会に参加後、伝達講習を行い多職種と共有し事業所全体のスキルアップを目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果

研修会や内部研修参加、委員会での取組み実施やスタッフでの話し合いを随時行い共有する中で気づきが多く持てるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか?	10	3	0		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	8	5	1		13
③	地域連絡会に参加していますか?	2	6	5		13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか?	8	2	3		13

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ヒヤリハット、事故報告書は速やかに報告し対策についてはその都度、検討しリスクマネジメントに努めた。ヒヤリハットについては、どんな些細なことでも気づきとして書面に書き出し職員同士話し合いの場を設けて観覧し周知した  
 なるべく多くの内部研修に参加できるように勤務調整し、学んだ事を現場で活かせるように努力した。

**できていない点** 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること  
 対策を検討して細心の注意を払ったが、同じような事案が起きてしまった。連絡会や外部研修の情報が殆どない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

研修の案内や情報は自分でも確認、自身でも研修については率先して調べ申し込みをする。ヒヤリハットについては常に意識を持ち引き続き多く出し合い検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月16日( 18:30 ~ 20:00

9. 人権・プライバシー

メンバー 永光、近藤、藤川、山崎、山崎悦子、大神、池口、松村、河底

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	5人	2人	人	13人

前回の改善計画

ケア前に事前に了承を得るなどして、少しでも心地の良いケアをしていく。言葉遣いや不適切ケアに十分注意して意識していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

スタッフ会議やミーティングの時に、権利擁護の説明や研修を行い、職員への取組みを行った。又接遇についても内部研修棟行い言葉遣いや接客態度等について再検討を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	5	0		13
②	虐待は行われていない	11	2	0		13
③	プライバシーが守られている	7	5	1		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	10	1		13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	7	5	1		13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

拘束や虐待、グレーゾーンについて意識調査を行った。又スタッフ会議等で話し合いや学習を通じ防止への知識や日々の介護への振り返りができた。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

成年後見制度について理解している職員は少ない。日々の利用者への声かけや介助の中で、これはグレーゾーンではないかと感じた事があった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

拘束、虐待、グレーゾーンについて引き続き研修やアンケート調査を実施し、繰り返し学習して意識を高めてい



## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定営利活動法人 福祉の里なかつ応援隊	代表者	理事長 武下 英二	法人・ 事業所 の特徴	利用者が可能な限り住み慣れた地域で居宅生活を継続できるように、利用者の選択に応じて、事業所への「通い」を中心として、「泊り」や「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境のもと日常生活上の支援や機能訓練を行います。利用者がこれまでの地域との繋がりを保つことができる環境作りを目指します。
事業所名	小規模多機能の家 水車	管理者	井上喜久子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	2人	1人	1人	人	4人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	本人では分からない事は、ご家族へ伺う等、積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係を築き生活環境や生活歴を把握する。	コロナ感染防止の為、家族との関わりも積極的にコミュニケーションが図れなかった。	職員によっては、理解度や取り組み方にばらつきがあった。	利用者や家族に対して、不安や希望を聞き取りし、より良い信頼関係を築く。明るく笑顔の絶えない施設を目指していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	自然に囲まれた環境の中で、静かに過ごすことが出来るように室内の環境づくりに務めます	施設内の感染対策は継続し、施設回りの畑などの環境整備を行い、畑で収穫された物を食べて頂く	施設特有の不快感な臭いや音もなく、とても清潔に感じる	今後も感染対策を継続し、清潔を保ち、環境整備を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	家族や地域の方に気軽に参加できる行事、ボランティア等を企画実施していく。	コロナウイルス等の感染症等、流行の状況を見ながら、ボランティアの方の受け入れをして行きたい。	地域ケア会議や地域研修会に参加など地域全体に向け、包括ケアに取り組んでいる姿勢が見られる。	コロナ感染状況を見つつ、地域行事や交流を開始する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今、この地域で生活している事を重視し地域との繋がりを増やして、ご利用様が地域に出向いていける環境作りに努める。	今年度に入り、少しずつではあるが、地域の行事が行われるようになった。	少しずつ外出や、地域の行事に参加出来たらと思います。	地域行事に参加しながら情報提供、情報交換を行う機会を定着して行く。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の一員として、施設が果たせる機能を運営推進会議の中で検討する。	コロナ感染症拡大後、4年ぶりに当施設会議室で運営推進会議を行うことが出来た。	分かりやすい報告ができています。運営推進会議は大切な機会なので、地域の方に頼りになる施設になって欲しい。	地域の一員として、施設が果たせる機能を運営推進会議の中で検討する。
F. 事業所の防災・災害対策	地域との連携を大切にする。防災設備の徹底管理と防災計画に対して、安心して頂ける情報を関係者に発信して災害時、頼りにされる事業所を目指す。	夜間の災害を想定して緊急連絡網を流し、実際に施設まで集合できる所要時間と集まれる人数の確認を行った。	災害時のマニュアルは整備され、活用されている緊急時にしつかり対応できるように取り組んでください。	防災設備の徹底管理と防災計画に対して、安心して頂ける情報を関係者に発信して災害時、頼りにされる事業所を目指す。